

**新しい時代を拓き、豊かな心で主体的・創造的にたくましく生きる子どもの育成
～自ら考え、解決する子どもを育てることにより学力向上をめざす授業づくり～**

稚内市教育研究会 小規模・複式教育部会

1. 研究主題など

(1) 研究主題

『新しい時代を拓き、豊かな心で主体的・創造的にたくましく生きる子どもの育成』
～自ら考え、解決する子どもを育てることにより学力向上をめざす授業づくり～

(2) 活動方針

- ①研究の深化環流蓄積が図られる体制づくり
- ②道へき複連盟研究計画及び稚内市学校教育推進の重点を踏まえた研究推進
- ③教育課程・各校研究・実践等の交流推進

(3) 体制・活動

- 低中高ブロック部会毎に、部長及び集合学習担当者をきめ運営にあたる。
- 各部会年間4回の部会研究を実施し、主題解明に向けた授業づくりの実践・交流を進める。
- 集合学習は東・西地区毎を基本とし計画的に実施し、東地区3校は低中学年社会見学、高学年宿泊研修行事を合同で行う。(6年度は宿泊研修)
- 稚内市複式教育研究大会は、3年に1度の稚内市開催の管内研究大会に合わせて開催し、2校以上の会場校において授業公開・研究発表を行う。会場校以外の学校は研究大会開催への協力をする。

2. 令和6年度の活動

- 5月 総会・拡大運営委員会〔計画共有〕
宗複連複式実践講座
- 6月 低中高各部会研究・東地区集合学習
- 8月 低中高各部会研究
- 9月 東地区合同社会科・生活科見学
東地区合同宿泊研修
宗谷管内教育研究大会兼稚教研大会

10月 東地区集合学習

11月 低中高各部会研究

12月 東地区集合学習

2月 拡大運営委員会〔総括〕(予定)

3. 活動の成果

- 宗谷小、天北小中を会場に、宗谷管内教育研究大会兼稚教研大会を開催した。会場校を中心に、研究授業および実践発表を行い、大きな成果が得られた。
- 授業研究では、ロイロノートの活用、インターネットでの調べ学習、ネット上の学習コンテンツ利用、クラスルームを介しての教材配付等、タブレットを使つての学習が部会各校で積極的に実践された。
- 運営面でもDXを意識し、リモート会議の実施、アンケートの電子化、クラスルームの活用など会務の効率化に取り組んだ。また、増幌小中学校の閉校に伴い、変則的になっていた各種ローテーションの見直しを行った。

4. 今後の方向性

令和の日本型学校教育として、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改革が強く求められている。こうした学び方は、小規模複式学級では、今までも当たり前に行われてきた授業風景である。私たちが積み重ねてきた実践を更に前に進めるため、次年度以降も稚内市小規模複式部会所属の5校が連携・交流し合い実りある活動を行っていきたいと考えている。また、部会運営について、更なる効率化を模索するとともに、各種行事の日程を整理するなど、所属校の負担軽減にも取り組みたい。